

財務状況

川崎学園令和3年度決算が去る5月27日（金）開催の理事会・評議員会において承認されました。財務状況の概要を次のとおり公開します。

学校法人の財務諸表は、事業活動収支計算書・資金収支計算書・貸借対照表の3種類を主体にして構成されることとなります。それぞれ各表の大科目を単位に表記することにし、あわせて若干の説明を加えることにします。

1. 事業活動収支

当該年度における収支均衡の状態を示し、活動区分ごとでの収支差額を表示して、経営状況を明らかにするもので、一般企業での損益計算に類似する。

令和3年度の事業活動収入は901億円で前年比18.9%増となった。また、事業活動支出は600億円で前年比2.5%増となり、基本金組入額301億円を差し引いた翌年度繰越収支差額は2億円となった。

2. 資金収支

法人が当該年度に行った教育研究等の諸活動に対するすべての資金の収入および支出である。

調整勘定を除いた正味の資金収入は1,947億円で、前年度からの繰越支払資金166億円を加え、収入合計1,915億円となった。

一方正味の資金支出は1,773億円で、翌年度への繰越支払資金は前年より8億円増加し、174億円となった。

3. 貸借対照表

令和4年3月31日現在の財務状況を示す。

資産合計は4,341億円で前年比7.7%増となる。

負債合計は574億円で前年比1.9%増、うち固定負債には退職給与引当金の要支給額100%が計上されている。

基本金は3,765億円で前年比8.7%増である。

純資産の部合計は基本金合計3,765億円に翌年度繰越収支差額2億円を加えて3,767億円となる。